

平成31年度 学校評価計画書

海田町立海田小学校

海田町学校教育施策の方針

「夢を持ち、夢を語ることのできる」児童生徒の育成

学校教育目標

夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども

自他を大切にする子ども

目標をもち ねばり強く取り組む子ども

体力づくりに励む子ども

現状の分析

知

- ・標準学力調査において、全学年・全項目で全国平均を上回った。
- ・あらゆる教科で音読・多読を取り入れ、長文も集中して読み取れるようになりつつある。
- ・読書タイム・読書時間の確保に努め、様々な種類の本に触れることが出来た。
- ・授業づくりの視点として「見通し」「協働」「振り返り」を共有し、主体的で学びのある授業に本年度も継続して取り組む。
- ・個別指導の質や量について留意する。

徳

- ・「いつでも どこでも 誰にでも」を合い言葉に挨拶への意欲を高め、持続できるように取組んだ。そのことにより挨拶への意識が高まった。
- ・地域への挨拶は段階的に手立てをしたことにより、増えてはきたが、継続して取り組んでいく必要がある。
- ・廊下を歩かない児童が目立つため取組の必要がある。

体

- ・体育の研究授業を行い、体育の授業力向上を図った。
- ・体育朝会・学年学級タイムで運動・遊びの紹介をした。
- ・体力の伸び率の高い児童の表彰を行なった。
- ・長期休業中は体力アップの貯金カードで体力作りの啓発をした。
- ・学校を休まないという意識は高まりつつあるので、今年度も継続して取り組む。

本年度重点目標

★確かな学力の定着

- ・音読・多読活動
- ・読書活動の充実
- ・資質・能力の育成
- ・主体的な学びのある授業づくり

★豊かな心の育成

- ・気持ちの良いあいさつ
- ・規範意識（廊下歩行）

★体力・耐力の育成

- ・運動好きな児童の育成
- ・欠席0への意欲づけ

評価項目

○確かな学力の定着

- ①音読・多読を取り入れた主体的な学びのある授業づくり
- ②学力の基礎となる読書活動の充実
- ③個別指導・確かな学力の充実
⇒基礎問題通過率 60%未満の児童を0に近づける。

○豊かな心の育成

- ①「いつでも・どこでも・誰にでも」気持ちの良い挨拶
⇒あいさつ広げ隊の結成。児童が発信する挨拶運動の展開により自主性、自尊感情、共感的人間関係を育成する。
- ②右側を歩く廊下歩行
⇒落ち着いたある集団づくり。ルール・マナーを守る規範意識、見通しをもって行動できる力を育てる。

○体力・耐力の育成

- ①体育の授業改善、楽しく運動する時間・空間・仲間の保障、年間を通した体育チャレンジカード
⇒運動好きな児童を育成する。
- ②生活リズムカレンダーの効果的な活用、感染症予防の取組
⇒生活リズムを整えて元気に登校する。